

はじめに

本書をお使いになる方へvi

実力養成編

第1部 話題別に言葉を学ぼう

1章	人間	2
1課	親類・友人・知人	2
2課	人の性格・特徴	6
3課	人に対する感情・行動	10
2章	生活	14
1課	食生活	14
2課	家事	18
3課	健康	22
3章	趣味・娯楽	26
4章	旅行	30
1課	旅行・交通	30
2課	自然	34
5章	教育と仕事	38
1課	学校	38
2課	仕事	42
6章	メディア	46
1課	報道・広告	46
2課	コンピューター	50
7章	社会	54
1課	行事	54
2課	事件・事故・災害	58
3課	経済・産業	62
4課	政治・法律・歴史	66
8章	科学	70
1課	自然	70
2課	科学・技術	74
9章	抽象概念	78
1課	数量を表す言葉	78
2課	時間・空間の言葉	82

第2部 性質別に言葉を学ぼう

1章	意味がたくさんある言葉	88
1課	動詞①	88
2課	動詞②	94
3課	形容詞・名詞	100
2章	意味が似ている言葉	106
1課	副詞・形容詞	106
2課	名詞・動詞	112
3章	形が似ている言葉	118
4章	副詞	124
1課	程度、時間、頻度の副詞	124
2課	後ろに決まった表現が来る副詞	130
3課	まとめて覚えたい副詞・その他の副詞	136
5章	オノマトペ	142
6章	慣用表現	148
1課	体の言葉を使った慣用表現①	148
2課	体の言葉を使った慣用表現②・その他の慣用表現	154
7章	語形成	160
1課	二つの言葉をプラス	160
2課	単語の前に漢字をプラス	166
3課	単語の後ろに漢字をプラス	172
4課	形容詞から作る動詞と名詞	178

模擬試験

第1回	186
第2回	188

索引	190
----	-----

ほんしょ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

■本書の目的

本書は以下の2点を大きな目的としています。

- ①日本語能力試験N2対策：N2の試験に合格できる力を付ける。
- ②語彙力の向上：試験対策にとどまらない全般的な語彙の力を付ける。

■日本語能力試験N2語彙問題とは

日本語能力試験N2は、「言語知識・読解」（試験時間105分）と「聴解」（試験時間50分）の二つに分かれており、語彙問題は「言語知識・読解」の一部です。

N2の語彙問題は更に以下の四つの部分に分かれます。

- 1 文脈規定　前後の文脈から空所に入る語を選ぶ問題
- 2 言い換え類義　出題された語と意味的に近い語を選ぶ問題
- 3 用法　複数の文の中から語が正しく使われている文を選ぶ問題
- 4 語形成　空所に接頭辞や接尾辞などを入れ、派生語や複合語を作る問題

■本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

じつりくようせいへん 実力養成編	だい 1 ぶ 第1部	わ だいいべつ　ことば　まな 話題別に言葉を学ぼう	しゅう ぜん 21 かい 9章 全21課
	だい 2 ぶ 第2部	せいしつべつ　ことば　まな 性質別に言葉を学ぼう	しゅう ぜん 16 かい 7章 全16課
も ぎ しけん 模擬試験	2 かい 2回		
さくいん　ふりがな付き、五十音順			
べつ ほん かいとう 別冊解答	いち ぶ かいせつ 一部、解説あり		

以下に詳しく説明します。

第1部　話題別に言葉を学ぼう

N2レベルの日本語を学ぶ人がどのような状況で、日本語を使うかを考えて、話題が選んであります。各課の内容は以下の通りです。

1. 言葉と例文

① ウォーミングアップ

質問に答えながら、自分の語彙力をチェックしてください。

あなたの現在の語彙力で質問にきちんと答えられますか。

2 言葉

話題に関する語のリストです。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

3 語形成

2言葉に出てきた語の中で「語形成」に関するものを整理しています。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

4 例文

2言葉、3語形成に出てきた語が使われている例文です。

例文を読んで、太字で示した副詞や副詞的表現の使い方も一緒に覚えてください。

II. 基本練習

1 導入練習

1. 言葉と例文で学んだ語を()に入れて、文章を完成させる問題です。

ある程度の長さの文章の中で学んだ語がどのように使われるかを覚えてください。

「導入練習」となっていますが、各課が終わった後に復習のために解いてもかまいません。

2 連語～5 語形成

それぞれ「連語」「意味」「類義」「語形成」の各観点から語を学んでいきます。

2連語では、一緒によく使われる語を覚えてください。

III. 実践練習

試験と同じ形式の練習問題です。自分の語彙力を確認してください。

20点満点の小テストとしても使えます。

第2部 性質別に言葉を学ぼう

意味、品詞、形式など、語の性質別に語彙の勉強ができるようになっています。

各課の内容は以下の通りです。

1. 言葉と例文

1 ウォーミングアップ

その課の語を勉強するときに注意すべきポイントが質問の形で示してあります。

質問に答えながら、その課でこれから何を勉強するのか、考えてみてください。

2 言葉

性質別に分類された語のリストです。例文とともに語を覚えてください。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

II. 基本練習

「連語」「意味」「用法」の各観点で、さまざまな練習を行って、語を学んでいきます。

連語の問題では、一緒によく使われる語を覚えてください。

III. 実践練習

試験と同じ形式の練習問題です。学んだ語がどれだけ身に付いたか、確認してください。
25点満点の小テストとしても使えます。

模擬試験

50点満点の模擬試験が2回分付いています。これまでの日本語能力試験の問題の分析から特に重要と考えられる語を問題として出しています。自分の今の実力を確認してください。

索引

本書で学習する語の語彙リストとしても使えるようになっています。本文での品詞や形に関係なく、その語の一番短い形(辞書に出ている形)で示しています。

例 本文 索引

勝手 (p.100) → 勝手
勝手な (p.107)

やかましくて (p.107) → やかましい

ひらがなでふりがなが付いていますので、語を暗記する際にも活用できるでしょう。

別冊解答

特に難しいところには、解説(ふりがな付き)が付いています。読んで確認してください。

■記号

I. 言葉と例文の中で使用する記号です。

A—B AとBが反義語であることを表す。

A・B AとBが共通の意味、用法、性質を持つことを表す。(類義語など)

A/B AとBが別の表現、意味、用法を持つことを表す。

例 くし/ブラシで髪をとく・とかす(p.22)

A→B BがAに関連の深い語であることを表す。

[] []の中の言葉に当てはまるいろいろな語に入れ替えることができる。

[] 一緒によく使われる語の例。

■表記

I. 言葉と例文にはすべてふりがなが付いています。I. 言葉と例文以外では、N2レベルの学習者にとって難しいと思われる漢字を含む語には、ふりがなを付けました。(常用漢字表[昭和56年内閣告示]で扱われていない語を含む。)

■学習時間

自分一人で勉強する場合

ウォーミングアップの後、言葉、語形成、例文などを辞書やインターネットで語を調べながら勉強してください。時間は特に決まっていますが、語の意味や使い方を十分に確認してから、基本練習に進んでください。第1部の基本練習と実践練習は、それぞれ5分から10分、第2部の基本練習と実践練習は、それぞれ10分から15分でできるでしょう。問題を解くこと自体よりも、解答や解説を読んでしっかり知識を身に付けることが重要なので、問題を解いた後、十分に時間をかけて、確認して行ってください。

教室で勉強する場合

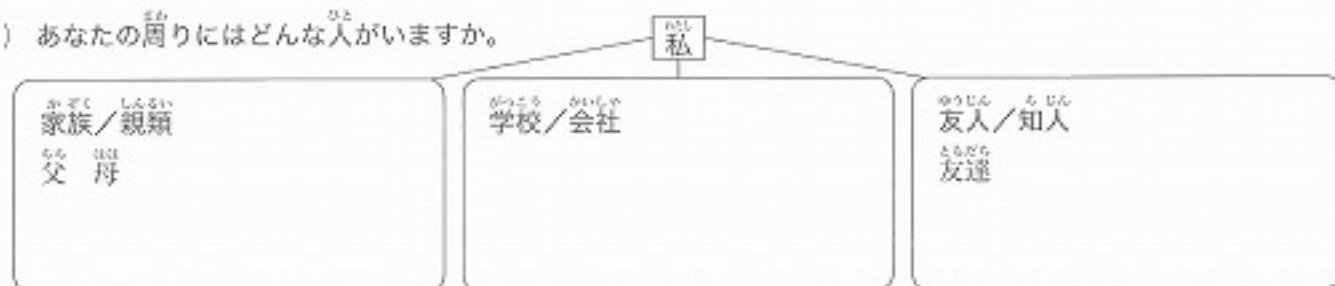
ウォーミングアップの後、言葉、語形成、例文などを確認していきます。第1部、第2部とも確認に30分から50分程度の時間が必要になります。時間がない場合には、言葉、語形成、例文などを、宿題として予習させることもできます。言葉、語形成、例文などがきちんと確認できていれば、第1部の基本練習と実践練習は20分から40分程度で、練習と答え合わせができるでしょう。第2部の基本練習と実践練習は30分から50分程度で、練習と答え合わせができるでしょう。通常であれば、2コマ(1コマあたり45分から50分)の授業で1課進むことができるはずです。予習を前提とすれば、1コマの授業で1課終えることもできるでしょう。

実力養成編 だい 第 1 部 わ 話題別 こと に ぼ 言葉を まな 学ぼう

1. 言葉と例文

1 ウォーミングアップ

(1) あなたの周りにはどんな人がいますか。



2 言葉

1. 家族/親類	
<p>▶ 家族/親類</p> <p>① 祖先—子孫</p> <p>② 祖父母から孫まで三世代で生活する</p> <p>③ 一家で出かける</p> <p>④ 親類の集まりに出る</p>	<p>⑤ 親孝行をする</p> <p>⑥ 実家が懐かしい</p> <p>⑦ 私は [] です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三人姉妹の末っ子 ● 一人っ子/双子
2. 友人/知人・知り合い	
<p>① 私たちは [] です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仲良し ● 仕事仲間 <p>② 知人・知り合いが多い</p> <p>③ 田中さんの [] です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 奥様—ご主人 ● お母様—お父様 ● お嬢ちゃん—(お)坊ちゃん 	<p>④ (田中)氏(ご)夫妻</p> <p>⑤ (田中)夫人</p> <p>⑥ 職場の []</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上司—部下 ● 先輩—後輩 <p>⑦ [] の人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目上—目下 ● 年上—年下/同い年
3. 付き合い	
<p>① 周囲の人々と []</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 親しい付き合いをする ● コミュニケーションを取る <p>② 約束を []</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 守る—破る・取り消す 	<p>③ 丁寧な言葉遣いで話す</p> <p>④ 初めて会った人と握手する</p> <p>⑤ 生徒が先生にお辞儀をする</p>



3 語形成

- (1) ~仲間 仕事仲間 勉強仲間 飲み仲間
 (2) ~合い 知り合い 付き合い 話し合い
 (3) 取り~ 取り消す 取り出す 取り替える
 (4) ~遣い 言葉遣い 金遣い 気遣い

4 例文 副詞や副詞的表現と一緒に使った例文を見てみよう。

- (1) 彼とは長年親しい付き合いをしてきた。
 (2) たとえ親友でも、話したくないこともある。
 (3) 十年振りにいところに会ったが、ちっとも変わっていなかった。
 (4) あの兄弟は、まるで双子のように顔が似ている。

II. 基本練習 >>

1 導入練習

1. 言葉と例文の中から適当なものを()に入れて、文を完成させなさい。始め、または終わりの何文字かはヒントとして示してあります。

先週、いとこの結婚式に行った。彼も僕も(①ひと)なので、子供のころはとても(②)よし)で、まるで兄弟のように、よく一緒に遊んだ。でも、大人になってからは、あまり親しい(③)あい)をしなくなってしまった。最近、お正月の親類の(④あつ)のときに会うだけだったので、久しぶりに会うことができ、とても(⑤)かし)かった。

いとこの結婚する相手は、職場の(⑥こう)の女性だそうで、とてもきれいな人だった。結婚式には、二人の(⑦しごと)がたくさん出席していて、とてもにぎやかだった。きっと、二人はいい夫婦になると思う。



2 連語 語と語のつながりや使い方を覚えよう。

例のように適当な言葉を線で結びなさい。

- | | | | | | |
|------------|---|----|----------|---|--------|
| (1) 約束を | ・ | 出る | (2) 親孝行を | ・ | 懐かしい |
| 集まりに | ・ | 破る | 子供のころが | ・ | お辞儀をする |
| コミュニケーションを | ・ | 話す | 先生に | ・ | する |
| 丁寧な言葉遣いで | ・ | 取る | 有名な人と | ・ | 握手する |

3 意味 基本的な意味を確認しよう。

の中から適当な言葉を選んで、()に入れなさい。

- (1) 祖先 目上 夫妻

- ① 人類の()は、アフリカで生まれたとも言われている。
- ② 社長ご()は、結婚して二十年になるそうだ。
- ③ ()の人には丁寧に話しなさい。

- (2) たとえ 長年 まるで

- ① あの二人は()姉妹のように仲がいい。
- ② ()親子でも、考え方が違うのは当然だ。
- ③ 私は()英語を勉強してきましたが、全然話せません。

4 類義 似た意味の言葉はどれですか。

の言葉に意味が近いほうを選びなさい。

- (1) あの子が田中社長の坊ちゃんです。(息子さん お嬢ちゃん)
- (2) 私たちは小学校のときから仲良しだ。(知り合い 友達)

5 語形成 接辞や複合語を覚えよう。

正しいものに○を付けなさい。

- (1) 優しい言葉をかけてくれる、彼の私に対する気(利用 ^{ツカ}遣い 用い)がうれしかった。
- (2) この服を青いのと取り(替えて 戻して 合って)いただけませんか。



III. 実践練習 >>

1. ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2点×2)

① 彼女とは昔から()合いがあります。

- 1 知り 2 付き 3 釣り 4 話し

② 田中さんと山田さんは飲み()です。

- 1 知人 2 友人 3 仲間 4 味方

2. ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2点×2)

① 急に忙しくなってしまったので、病院の予約を()。

- 1 取った 2 取り消した 3 守った 4 破った

② 妻は息子と一緒に()に帰っています。

- 1 大家 2 作家 3 実家 4 家主

3. _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2点×2)

① この子はうちの兄弟のすえっこで、家族にとっても大切にされていた。

- 1 一番上の子 2 一番下の子 3 一人っ子 4 双子

② 父の仕事の都合で、一家で東京へ引っ越した。

- 1 一人 2 一家庭 3 一家族 4 家族全体

4. 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(4点×2)

① 親しい

- 日本語と韓国語の文法は親しいと言われている。
- 彼はコンピューターに親しいから、何でも知っている。
- 私たち親子は、とても親しくて、よく一緒に旅行に行きます。
- 新しい家に引っ越したので、親しい人たちを招待してパーティーをした。

② お辞儀

- 先生に、お辞儀に何かプレゼントしたいと思っている。
- 友達とけんかしたら、早くお辞儀をしたほうがいい。
- 道の向こうに知人を見つけたので、軽くお辞儀をした。
- 小林さんは会社からお辞儀をして、別の会社に行くそうです。